

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年7月12日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	多久市役所	代表者名	横尾 俊彦
担当者部署	情報課	連絡先電話番号	0952-75-2114
担当者役職		担当者氏名	
住所	846-8501 佐賀県多久市多久市北多久町大字小待7番地1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	東 富彦
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	オープンデータ推進の取り組みについて疑義を感じている職員に対し研修を実施して下さることで、意義やメリットをご教示くださったところ。研修の内容については特に、数多くのオープンデータ活用事例を紹介して下さったことがよかった。例えば、「指定緊急避難場所検索」というアプリでは、各自治体ごとの指定緊急避難場所のデータセットを利用し、現在地や任意の場所を指定して近くにある指定緊急避難場所を迅速に検索できる。市民目線から考えて、防災分野の情報は有益であり、このようなツールを各自治体が共同で利用すれば、地域の課題解決に資するのではないかと感じた。
アドバイザーへの要望事項	アドバイザー支援終了後も、BODIK担当ディレクターとして、支援・助言等をお願いしたと考えております。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月8日	10時00分	15時00分	60	240
3-2. 派遣場所	会場名	同上	最寄駅	中多久駅	
	所在地	同上			
	最寄駅からの交通手段	同上			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	多久市職員150名	150人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・”スマートシティ”や”オープンデータ”といった普段聞くことも学ぶことも少ない言葉に対し、本市の新規事業として継続して活動を行っていくことへの不透明さ。 前例がないことに対し、この事業を担当する職員の知識の不足。 ・データを保有する担当課全職員の本事業への取り組み理解、オープンデータ公開の必要性が得られるかということ。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	オープンデータをカタログサイト「BODIK」に掲載。随時及び定期的に、データセットの更新、利便性が高いと考えられるデータセットの追加を行う。そのデータを活用し、市民の生活がより便利になっていくことを想定している。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	「スマートシティ実現に向けたオープンデータの取り組み」という題目で、多久市全職員を対象とした研修を午前・午後二回に分けて行った。オープンデータのいろはから国内外の活用事例、自治体がオープンデータを公開したことによる業務負担軽減の事例など、初めてオープンデータの推進事業を行っていく本市に対して、丁寧に導入からご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	本市オープンデータ推進事業を進めていくにあたって一番の課題である”担当する職員の取り組みへの理解”が図られたこと。オープンデータの基礎的な知識から公開した後の活用事例までご教示いただいたことにより、実際に業務にどのように活かせるのかなど、各課ごとに考える良い機会になった。各課には推奨データセット(基本編)の入力を7月17日(水)までに依頼しているところ。今回の研修を機に、どのようにデータセットを入力したらいいのかを、データを利活用する市民目線・企業目線で考えることができるようになったと考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修で使用した資料を、研修受講者全員に配布した。オープンデータの基礎的なことから、どこの自治体がどのようなデータセットを開放して利用しているのかなど、疑義が出た時に解決できる一つのツールとなる。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータの基礎的なことから活用事例までの研修ではあったが、具体的に本市としてどのような作業を職員が今後、行っていくのかが不透明であるというところ。7月19日(金)に、各課に依頼した推奨データセット(基本編)の確認と助言をアドバイザー(東氏)にさせていただく予定。この点の解決については、東氏や内部で検討を行っていき、職員に対しても具体的なアナウンスができたらと考えている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修受講者全員(150名)に対し、受講後に研修の評価や多久市のオープンデータ取り組みについての意見等のアンケートを行った。「オープンデータの意味・取り組んでいく意義、メリットも分かり知識を深めることができた」という意見があった。また「どのようなデータを公開したらどのような成果が出るのか具体例をもっと知りたい」という意見もあり、多久市としてオープンデータをどのように活かせるのかに疑問があるのだと感じられた。このことから、オープンデータの基礎は伝わったが具体的な取り組み方がまだよく分からないと考えている職員が多にいるということが分かった。職員が抱えている疑問を今後の取り組みの中で解決しながら事業を推進していきたい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今夏までに地方自治体がオープンデータを公開するためのカタログサイトである「BODIK」に「推奨データセット(基本編)」を掲載。今後、随時及び一年ごとに掲載したデータの確認・加除修正を行っていく。市民の生活がより便利になるようなツールを模索していきたい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

